

インクルーシブな社会を目指して 教育に期待する事

33年前、福岡発達障がい者親の会「たけのこ」（当時は福岡LD（学習障害）児・者親の会「たけのこの会」）は納富恵子先生の後押しのもと立ち上がりました。

子育てに悩みどう進んでいったらよいのかわからなかった発達障がい者の子どもを持つ親たちに、沢山の知恵と勇気を与えて下さった納富恵子先生は、「たけのこの母」であり大切な存在です。

この度、納富恵子先生が福岡教育大学大学院 教育学研究科 教職実践専攻(教職大学院)を御退官されたことを記念して講演会を開催いたします。

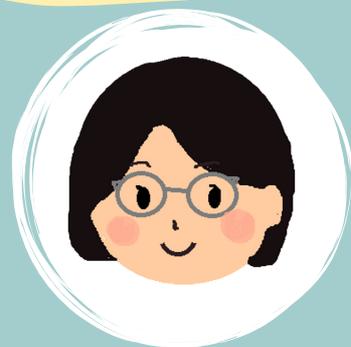
「インクルーシブな社会を目指して教育に期待する事」と題し、これまでの納富先生のご経験や知見を通して、これからの教育についてお話し頂きます。

講師：納富恵子先生

福岡教育大学名誉教授

下関市立大学都市みらい創造戦略機構委嘱研究員

老健ふなき医師



(講師略歴)

精神科医としての臨床経験と米国の自閉症児者教育プログラム TEACCHのトレーニングをうけた経験から、教員養成における発達障害のある子どもたちへの実践研究の重要性に気づき、教員養成大学で教育研究を続けている。

福岡教育大学特別支援教育講座時代は、TEACCHのアセスメント・構造化された指導・家族との連携の観点を取り入れた実践の効果検証・通園施設や小・中学校・特別支援学校への指導やコンサルテーションの実践研究を行っていた。成果の応用の一部は、福岡県教育センターの研究紀要「はじめよう自閉症の子どもへの支援」「すすめよう自閉症の子どもへの支援」で公開している。

また、自閉症児を育てる家族のメンタルヘルスの研究や海外の発達障害学生の大学での支援の調査研究も行ってきた。良い実践をもとめ米国・英国・香港・オーストラリアへの視察も行った。

平成21年福岡教育大学に設置された教職大学院に異動後は、現職教員の院生とともに、教育現場の特別支援教育の推進手法・学びのユニバーサルデザイン（UDL）を活用した授業づくりと効果検証など児童生徒の適応上の課題を組織的・実践的に解決する実践的研究を行っている。

・日時：2023年7月2日（日）

9：30 受付
10：00 開会
10：05 講演
11：45 質疑応答
12：00 終了

・会場：あいあいセンター7F大研修室

福岡市立心身障がい福祉センター
福岡市中央区長浜1丁目2-8

・定員：100名

・参加費：一般1,000円 ※会員無料
当日会場にてお支払い下さい

・対象：教育機関、支援機関、ご家族
その他興味のある方

主催 福岡発達障がい者親の会「たけのこ」

<https://www.takenoko-fukuoka.com/>



《西鉄バス》

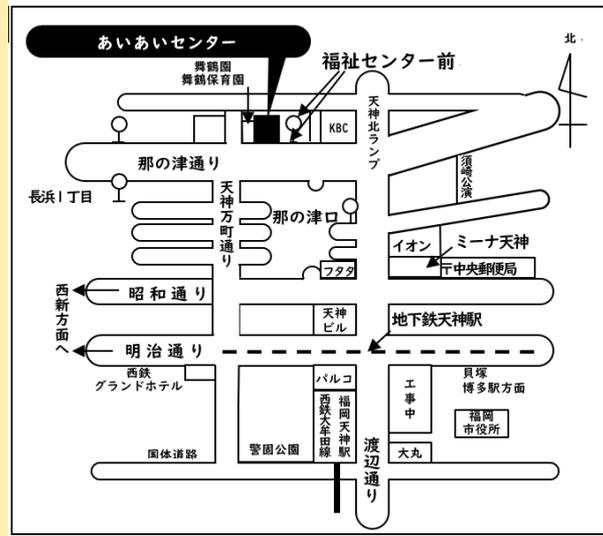
「福祉センター前」下車すぐ
「長浜1丁目」下車 徒歩2分
「那の津口」下車 徒歩5分
「天神」下車 徒歩12分

《市営地下鉄》

「天神駅」下車 徒歩12分

《西鉄大牟田線》

「福岡（天神）駅」下車 徒歩15分



お申し込みはこちらのQRコードから



E-MAIL takenoko.kouen@gmail.com

TEL&FAX 092-517-1867

※お問合せについては、なるべくE-MAILにてお願いします。
TEL・FAXでのお問い合わせ・お申込みは、9:00～20:00のみの
受付とさせていただきます。

FAXでお申し込みの方は、以下の内容をご記入ください。

- ①お名前（ふりがな）
- ②所属 教育機関 支援機関 ご家族 たけのこ会員 その他（ ）
- ③電話番号
- ④メールアドレス

- ・受付完了のご連絡はいたしません。
- ・定員に達し、受付できない場合のみ、こちらからご連絡いたします。

主催 福岡発達障がい者親の会「たけのこ」

<https://www.takenoko-fukuoka.com/>

